

# 第3回稚内港長期構想計画委員会及び 稚内港港湾計画改訂について

稚内市建設産業部 港湾課

## はじめに

日本最北端の街、稚内市は三方を資源豊かな海（日本海、オホーツク海、宗谷海峡）に挟まれた港湾都市で、道北圏の物流拠点として、また、沖合、沿岸漁業の基地としても重要な役割を果たしています。

稚内港の港湾計画は平成10年11月に改訂され、15年以上が経過し、サハリンプロジェクト等の石油、天然ガス等の資源開発の進展など、港を取り巻く環境が著しく変化しております。

このような状況を踏まえ「稚内港将来ビジョン（H24.3）」をもとに長期構想を具体化し、20～30年後の港湾の開発、利用及び保全の基本的な方向を示す「稚内港長期構想計画（H26.2）」が策定されました。また、平成26年3月に稚内港港湾計画改訂を行いましたので、ご紹介させていただきます。



稚内港全景写真

## 1. 第3回稚内港長期構想計画について

稚内港長期構想計画は、学識経験者や有識者、行政

機関からなる「稚内港長期構想計画委員会（委員長：社団法人日本港湾協会 鬼頭理事長）」を平成24年8月に設置し、平成25年10月4日、平成26年1月31日の3回の委員会を開催し、策定しました。

第3回委員会では、現状を踏まえた課題やポテンシャルから導きかれた5つの目標である①世界のエネルギー供給を支えるみなど、②世界と結び産業を支えるみなど、③世界から集い賑わうみなど、④地球にやさしいみなど、⑤安心安全なみなどの達成に向けたプロジェクトの展開や効果、整備計画について、提示をさせていただきました。

世界のエネルギー供給を支えるみなどでは、釜山港経由でロシア連邦サハリン州に輸送されているサハリンプロジェクト関連資機材の供給拠点として短期に航路泊地を-10mから-12mへ増深、中長期で「はまなす地区」への展開をするとともに、極東の船舶修理拠点や宗谷海峡で増加するタンカーへの油防除拠点へのハード、ソフト整備について提案しました。

世界と結び産業を支えるみなどでは、サハリンとの国際フェリーの活性化に加えて、シベリアランドブリッジや北極海航路を利用した欧州との取引の拡大を目指すこと、世界から集い賑わうみなどでは、北地区において、交流拠点間の機能強化を行う稚内マリントウンプロジェクトの展開とクルーズ船対応岸壁の整備を行い、交流空間の強化を行うことを提案いたしました。

地球にやさしいみなどでは、風況の良さを生かした



第3回長期構想計画委員会（平成26年1月31日）

洋上風力発電を建設し、長期的には、LNG発電などの次世代エネルギーを「はまなす地区」に展開することとしております。

安心・安全なみなどでは、漁船とプレジャーボートの輻輳に伴う水域施設及び港内静穏度の確保、国境・離島の安定確保のための拠点としての展開を提案いたしました。

委員からは、「はまなす地区」への展開のタイミングを逸しないようお願いしたい、長期構想計画の実現をしてほしいなどの意見が出されました。

上記意見を踏まえ、平成26年2月に「稚内港長期構想計画」を策定いたしました。

## 2. 稚内港港湾計画改訂について

稚内港長期構想計画に基づき、稚内市地方港湾審議会（H26.2.24）、交通政策審議会第55回港湾分科会（H26.3.18）の議を経て、目標年次を平成30年代後半とする港湾計画の改訂をしました。

港湾分科会では、委員からサハリンプロジェクトの基地化に向けた取組など、計画を実現してほしいなどの意見が出されました。

稚内港の港湾計画改訂に際し、多くの皆様のご意見、ご協力をいただきながら無事に港湾計画改訂をすることができましたことに謝意を表します。



■稚内港長期構想計画は稚内市のホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/sangyo/kowan/jigyokeikaku/>

